

追手門学院大学 教育後援会会報

発行者
追手門学院大学
教育後援会
〒567-8502
茨木市西安威2-1-15
TEL 072 (641) 9669
FAX 072 (643) 9414



教育後援会長挨拶

会長 堀井 裕司

新年明けましておめでとうございます。

昨年6月3日(土)に優勝ホールにて開催されました教育後援会の総会におきまして、会長の大役を再び仰せつかりました。その重責にあらためて身の引き締まる思いでございます。

これからの一年も役員になられた皆さま、会員である保護者の皆さまと心を一つにして、追手門学院大学の一層の発展を願って、精一杯努めてまいり所存でございます。至らない点もあると思います。が、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

教育後援会は、「学生が大学で有意義に過ごせるようにサポートすること」、「大学の教育・研究活動の充実に寄与すること」及び「会員相互の親睦を図ること」を目的とし

て、さまざまな事業を行っておりますが、これらの諸事業が学生たちの成長を育み、輝かしい未来に向けた実りある大学での生活の一助となりますことを心から願っております。来年、学院創立130周年を迎えられるにあたり、さらなる教育・研究活動の充実、教育環境の整備に向けて始動している大学、また、追手門学院教育振興会を通じて併設の学校・園の各後援団体との連携を深め、より一層の発展に向けて邁進していく所存でございますので、会員の皆さまのご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。念頭にあたり、皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



見学懇親会印象記

教育後援会 会計
笠間 優雄

11月30日(木) 教育後援会・卒業生保護者の会主催の追手門

ファミリーによる見学懇親会が開催されました。今年度の目的地は、追手門学院大学が連携協定を結んでいる京都府宇治市へのバス旅行でした。

午前9時丁度京都駅八条口バスターミナルに集合。2グループに分かれてバスに乗車し、第一目的地の宇治茶会館へと出発しました。到着までの約1時間は、バスガイドさんの流暢なお話、車窓より宇治川や宇治の茶畑を眺めるバス旅行を楽しみました。

到着後、10時より講演会を開催。宇治市長よりご挨拶をいただき、宇治市市民環境部長の松田様より「宇治のまちづくり」についての講演がありました。

た。その後は、「宇治茶」を海外に発信するため「ocha」を海外に発信するためオランダへ留学した学生の体験談をまとめたVTR鑑賞や、国際教養学部の方の今後のカリキュラム、「GIPプログラム」の必要性についてのお話が続きました。

その後、懇親会会場である「花やしき浮舟園」に移動し、11時半より懇親会が開催されました。教育後援会堀井会長の挨拶に続き、川原理事長の乾杯で会場内はリラックスムードとなりました。宴会場の大きな窓から、深まりゆく秋を楽しんでいるのかのような宇治の里の風景と、力強く流れる宇治川の様子を眺めながら、季節の会席料理に舌鼓を打ち、同席になった方々と親睦を深めました。関係者の紹介、卒業生保護者の会北澤副会長のご挨拶、教育後援会小村副会長の閉会の挨拶で懇親会は実りある交流の場となり、閉会しました。

懇親会後は、小グループに分かれ各グループに1人のツアーガイドさんが付き、宇治のまちを散策開始。まずは、世界文化遺産の「平等院」へ向かいました。鳳凰堂の中を見学し、いろはもみじに彩られた院内で平安時代と変わらぬ風景を楽しみました。

した。

次に、福寿園へ向かい「宇治茶体験コース」「朝日焼き体験コース」に分かれ、各々体験講座へ参加しました。「宇治茶体験コース」では、石臼をゆつくりとした1・2・3のリズムで約15分間回し続け、できあがった香りの良いお抹茶をその場で薄としていただきました。

「朝日焼き体験コース」では、器づくりに挑戦！自信作品を完成させ、焼き上がりを楽しみに体験を終えました。

今年度の見学懇親会では、色彩豊かな宇治の秋を楽しみ、先人が残してくださった素敵な日本の文化にふれ、また追手門ファミリーが一体となり深い絆で結ばれていることを再確認できた一日となりました。



2017年度 教育後援会 総会開催



2016年度事業報告

- 1 学生会は、
- 2 学生の福祉を増進する
- 3 教育環境の向上に寄与する
- 4 大学と家庭の連携及び会員相互の親睦を図る
- 5 業計画に基づき、次の事業を実施した。

1 学生への助成

- (1) 奨学金の給付（給付奨学金及び修学援助給付奨学金）
①教育後援会給付奨学金
修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生を援助することを目的とする。2014年度より給付者を春学期、秋学期5名ずつ拡充し、30名の学生に給付した。
- (2) 教育後援会修学援助給付奨学金
学資支弁者たる父母または保証人が死亡したことによる家計急変のために、修学を継続することが経済的に困難となった学生の学費等を援助することを目的とする。2016年度は13名の学生に給付した。
- (2) SPI試験の受験料全額援助
1 回生全員を対象に実施したSPI試験の受験料全額援助を行った。
- (3) 就職模擬試験の受験料全額援助
3 回生を対象に実施した第1回、ならびに第2回就職模擬テストの受験料の全額援助を行った。当年度は延べ942名の学生が受験した。
- (4) 筆記試験対策講座
3 回生希望者を対象とした筆記試験対策講座の受講料援助を行った。今年度は延べ303名の学生が受講した。
- (5) 国際交流活動に対する援助
語学検定料援助、交換留学生への海外留学準備講座への援助、交換留学生への活動支援への援助を行った。
- (6) 課外活動に対する援助
課外活動団体の大会出場にかかる諸経費、学外施設の利用料及び成績優秀団体への報奨金等の援助を行った。

2 大学への援助

- (1) 朝定食の費用一部援助
2016年度からの新規事業として食堂で販売される朝定食の費用の一部援助した。
- (8) 入学・卒業記念品の贈呈
入学生への入学記念品としてカードケースを贈呈した。卒業生へは卒業記念品として印鑑1本と袱紗のセットを贈呈した。
- (9) 卒業記念パーティーの開催
春学期末卒業生に対しては、2016年9月23日（金）に春学期末学位授与式終了後、大学食堂棟で開催した。秋学期末については、2017年3月17日（金）に学位授与式終了後、リーガルイタルホテルにおいて開催した。
- (1) 大学創立50周年記念事業協力基金の贈呈
2012年度から2015年度までに積み立てた大学創立50周年記念事業協力基金を2016年4月16日（土）大学へ贈呈した。
- (2) 教育後援会事務の委託にかかる経費補填
大学と家庭との連絡、会員相互の親睦
- (3) 会報の発行（年2回）
2016年4月30日と2017年1月10日2回発行した。
- (2) 「保護者のためのキャンパスガイド」の発行
入学手続き後に新入生保護者に配布した。
- (3) ホームページを通じての会員への広報
各行事のお知らせや報告等、インターネットによる情報発信の充実を図った。
- (4) 教育後援会DAYの開催
2016年6月4日（土）に開催した。
- (5) 保護者のための就職講演会の開催（年2回）
2016年6月4日（土）に教育後援会DAYのプログラムの一つとして第1回就職講演会を開催した。第2回就職講演会は2017年2月25日（土）に開催した。
- (6) 保護者のための講演会の開催（学生相談室の企画・協力のもと、年1回開催）
2016年6月4日（土）に教育後援会DAYのプログラムの一つとして開催した。
- (7) 見学懇親会の開催
2016年10月18日（火）に卒業生保護者の会と共催でガーデンオリエンタル大阪での昼食懇親会とトータル鑑賞を開催し、大学関係者を含め123名が参加した。
- (8) 新会員歓迎会の開催
2016年4月1日（金）の入学式後に新会員歓迎会を開催した。
- (9) 特別公開講座「おうてもん塾」の開催
会員の教養を高める事業として、教育後援会会員、一般社会人を対象に特別公開講座「おうてもん塾」を開講。スポンサー研究センターの協力を得て井村雅代氏を講師に迎え、2017年3月27日（月）14時より、追手門学院大学「優雅ホール」にて2016年度おうてもん塾を開催した。また講演会を基調講演とし、シンポジウムを開催した。
- (10) 実行委員会、会員総会の開催
実行委員会を7回、見学懇親会事前打ち合わせを1回、総会準備委員会を1回開催した。2016年6月4日（土）に会員総会を開催した。

4 教育振興会との連携

- (1) 慶弔規定にもとづく祝金及び弔慰金の給付
- 教育振興会DAY、見学懇親会、おうてもん塾などの各行事を教育振興会と共催で開催し、連携を深めた。

2016年度収支決算報告及び会計監査報告

原案のとおり承認されました（3ページ参照）。

2017年度事業計画案及び収支予算書

2017年度事業に、將軍山祭実行委員会運営への援助などを新規事業として追加することが承認されました。また、2017年度収支予算書は原案のとおり承認されました（3ページ参照）。

履修登録について説明

高尾専務理事より、履修登録について説明があり、参加者の方からの質問に、藤吉教務部長が回答されました。

退任役員 感謝状及び記念品贈呈

退任役員に川原理事長・学長より感謝状及び記念品と花束が贈呈されました。

最後に教育後援会の活動に対するご支援・ご協力を改めてお願いして総会を閉会いたしました。



2016 年度教育後援会収支計算書

<2016.4.1～2017.3.31>

(単位：円)

	科 目	予算額	決算額	差 異
収入の部	会 費	65,000,000	64,070,000	930,000
	会 員 研 修 参 加 費	1,500,000	1,800,432	△ 300,432
	受 取 利 息 配 当 金	20,000	1,160	18,840
	記念事業協力費特定預金からの繰越収入	10,000,000	10,000,000	0
	学生支援基金積立金からの繰越収入	0	3,000,000	△ 3,000,000
	雑 収 入	15,000	42,200	△ 27,200
	当 年 度 収 入 合 計	76,535,000	78,913,792	△ 2,378,792
	前 年 度 繰 越 金	62,405,619	62,405,619	0
	収 入 の 部 合 計	138,940,619	141,319,411	△ 2,378,792
支出の部	会 議 費	500,000	162,856	337,144
	会 員 研 修 費	3,000,000	3,635,333	△ 635,333
	教育・就職講演会援助費	1,000,000	176,520	823,480
	学 生 奨 学 金 助 成 費	14,750,000	17,750,000	△ 3,000,000
	学 生 関 係 援 助 費	13,600,000	10,759,582	2,840,418
	会 報 作 成 費	1,000,000	886,884	113,116
	キャンパスガイド作成費	1,200,000	996,840	203,160
	卒業記念パーティー費	8,900,000	8,873,101	26,899
	記 念 品 費	5,000,000	4,414,144	585,856
	慶 弔 費	700,000	693,200	6,800
	通 信 費	2,000,000	1,710,980	289,020
	事 務 費	1,300,000	1,155,064	144,936
	広 報 費	500,000	169,560	330,440
	雑 費	50,000	648	49,352
	事務処理援助費	3,500,000	3,500,000	0
	寄 付 金	10,000,000	10,042,200	△ 42,200
	記念事業協力積立金	1,000,000	0	1,000,000
	学生支援基金積立金	10,000,000	0	10,000,000
	予 備 費	3,000,000	123,919	2,876,081
	当 年 度 支 出 合 計	81,000,000	65,050,831	15,949,169
	次 年 度 繰 越 金	57,940,619	76,268,580	18,327,961
	支 出 の 部 合 計	138,940,619	141,319,411	△ 2,378,792

上記のとおり報告いたします。 2017年 5 月 13 日

2016年度教育後援会の会計について監査の結果、すべて適正、かつ正確であることを認めます。2017年 5 月 13 日

追手門学院大学教育後援会

会 長 堀 井 裕 司

会 計 鶴 田 順 子

会 計 富 田 善 美

追手門学院大学教育後援会

会計監査

一 瀬 隆 子

岩 村 公 江

2017 年度 教育後援会役員

職 名	氏 名	学年	学 部
会 長	堀 井 裕 司	4	経 営
副会長	小 村 美 幸	4	国際教養
	野 村 和 子	3	社 会
	西 川 良 彦	1	国際教養
会 計	富 田 善 美	4	経 済
	笠 間 優 雄	2	国際教養
会 計 監 査	谷 村 仁 代	4	経 営
	田 中 里 香	4	経 営
委 員	上 原 裕 香	4	心 理
	神 崎 実	3	経 済
	竹 内 暁 子	3	経 済
	林 真由美	3	地域創造
	下 出 京 子	2	経 営
	梨 木 真 弓	2	地域創造
	細 越 雅 子	2	地域創造
	津 田 美 佐	2	社 会
	樽 本 丞 史	2	心 理
	乾 智 子	2	国際教養
	小 林 秀 樹	1	経 済
	宇佐美 尚 穂	1	経 営
	古 春 芳 江	1	経 営
	福 島 佳 子	1	地域創造
	港 川 陽 子	1	心 理
	菊 地 玉 喜	1	国際教養

2017 年度教育後援会収支予算書

<2017.4.1～2018.3.31>

(単位：円)

	科 目	17 年度予算額	16 年度予算額	差 異
収入の部	会 費	67,540,000	65,000,000	2,540,000
	会 員 研 修 参 加 費	1,500,000	1,500,000	0
	受 取 利 息 配 当 金	10,000	20,000	△ 10,000
	記念事業協力費特定預金からの繰入収入	0	10,000,000	△ 10,000,000
	学生支援基金積立金からの繰入収入	0	0	0
	雑 収 入	15,000	15,000	0
	当 年 度 収 入 合 計	69,065,000	76,535,000	△ 7,470,000
	前 年 度 繰 越 金	76,268,580	62,405,619	13,862,961
	収 入 の 部 合 計	145,333,580	138,940,619	6,392,961
支出の部	会 議 費	500,000	500,000	0
	会 員 研 修 費	3,700,000	3,000,000	700,000
	教育・就職講演会援助費	500,000	1,000,000	△ 500,000
	学 生 奨 学 助 成 費	14,750,000	14,750,000	0
	学 生 関 係 援 助 費	14,000,000	13,600,000	400,000
	会 報 作 成 費	1,000,000	1,000,000	0
	キャンパスガイド作成費	1,200,000	1,200,000	0
	卒業記念パーティー費	8,900,000	8,900,000	0
	記 念 品 費	5,000,000	5,000,000	0
	慶 弔 費	700,000	700,000	0
	通 信 費	2,000,000	2,000,000	0
	事 務 費	1,300,000	1,300,000	0
	広 報 費	250,000	500,000	△ 250,000
	雑 費	25,000	50,000	△ 25,000
	事務処理援助費	3,500,000	3,500,000	0
	寄 付 金	0	10,000,000	△ 10,000,000
	記念事業協力積立金	2,000,000	1,000,000	1,000,000
	学生支援基金積立金	20,000,000	10,000,000	10,000,000
	予 備 費	3,000,000	3,000,000	0
	当 年 度 支 出 合 計	82,325,000	81,000,000	1,325,000
	次 年 度 繰 越 金	63,008,580	57,940,619	5,067,961
	支 出 の 部 合 計	145,333,580	138,940,619	6,392,961



2017年度

おうてもん塾

2017年11月5日(日)

10時より、追手門学院大学6号館にて「2017年度おうてもん塾 將軍山祭特別講演会」を開催しました。

2017年度おうてもん塾は、教育後援会と第51回將軍山祭実行委員会が力を合わせ、「將軍山祭特別講演会」として開催。司会は、放送部の立石勝己さん、土井康平さんに務めていただきました。講師には、尾木ママこと尾木直樹氏をお招きし、「7つの人生力」ありのままに今を輝かせる力と大学生への親のサポート」をテーマにご講演いただきました。

6号館2階の優勝ホールで開催した講演会ですが、当日参加の方にも多数ご来場いただき、1階の大教室でも中継で尾木ママの講演会をお聞きいただきました。

將軍山祭実行委員長の尾松賢さんの開会挨拶のあと、会場のみなさまで「尾木ママ」と大きな声で呼び出すと、会場後方から尾木ママが登場。参加者の方々と握手をされな

がら登壇されました。

1時間という限られた時間ではございましたが、子育てのお話からご出演番組のお話まで、テーマにとらわれず様々なお話を聞かせいただきました。中でも、「笑い」や「コミュニケーション」の大切さについてお話をされる中で、今回の講演でも、会場中から終始笑い声が溢れ、また参加者の方にも意見を伺いながらコミュニケーションをとられてるのが印象的でした。

お話の後には、教育後援会会長の堀井裕司様のご挨拶、將軍山祭実行委員会企画副局長の水越泰雅さんより花束贈呈が行われ、大きな拍手と共に講演会は終了いたしました。

今回のおうてもん塾には、学生や保護者のみなさまだけでなく、地域の方々にも多数ご来場いただき、約800名の方にご参加いただきました。

ご参加いただいた方からのアンケートでは「楽しかった」「久しぶりに笑わせてもらった」という感想をはじめ「あっ

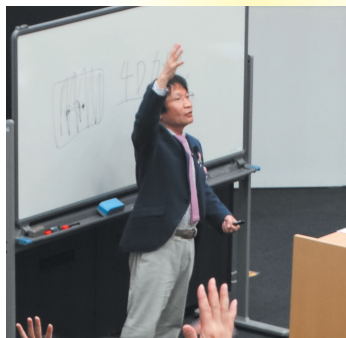
という間で、

もつと話を聞きたかった」

「講演会で聞

いた事を子育てに活かしていきたい」などたくさんの方のメッセージをいただきました。

ご講演いただきました尾木先生をはじめ、おうてもん塾開催にあたりご協力いただきましたたくさんの方々、ならびにご参加くださった皆さまに深く感謝申し上げます。



2017年度

春学期末学位授与式
卒業記念パーティー

9月22日(金)、2017年度春学期末学位授与式が大学1号館3階会議室5にて举行されました。

午前10時30分に開式し、国歌斉唱後、川原理事長・学長より卒業生に学位記が授与されました。続いて理事長・学長式辞、来賓紹介、卒業記念品贈呈が行われ、最後に慣れ親しんだ学院歌を斉唱し、滞りなく式は終了しました。



式後、食堂棟2階コンベンションルームにて卒業記念パーティーを開催しました。川原理事長・学長の挨拶に続き、堀井会長の乾杯のご発声で会食が始まりました。

多数の方々にご参加いただき、わずか1時間余という短いひとときでしたが、卒業生たちとの間には楽しい語らいの輪が広がり和やかな雰囲気となりました。

最後に校友会林田会長よりお祝いとお歓迎のご挨拶を頂戴した後、卒業生代表より謝辞があり、名残惜しみつつ卒業記念パーティーは幕を閉じました。

りを目的としています。

2017年度教育後援会給付奨学金交付式を9月22日(金)に挙行了しました。

教育後援会給付
奨学金交付式

この奨学金は教育後援会の資金をもつて創設し、修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生への援助・学業に専念できる環境づく

て30名の学生に奨学金を給付いたしました。



テーマ 絆 繋 ～きづな～

第51回 将軍山祭

11月4日(土)・5日(日)



第51回 将軍山祭実行委員会

委員長 尾松 賢

(経済学部 ヒューマンエコノミー学科)

本年も、学校教職員の方々をはじめ、多くのご支援、ご協力を賜り、新たな始まりとなる第51回将軍山祭を無事終えることができました。関わっていただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

今年は、第50回を終え、第51回として新たな第一歩となるよう強い意気込みをもって始めました。良いところ悪いところをすべて見直し、追手門学院大学全体で作り上げ、追手門学院大学近隣住民の方々と絆を結び、それを来年にも繋いでいくという意味を込めて「絆繋～きづな～」というテーマを決めました。将軍山祭始めて以来初の、見て楽しい、聞いて為になる講演会を催したり、近隣の幼稚園に子供向けのデモンストレーションを行うなど、全員が少しでも多くのお客様に来ていただきたい、ご来場いただいた皆様楽しんで帰り、また来たいと思えるような将軍山祭作りに動しんで参りました。今年もたくさんの方の笑顔を見ることができました。

第52回将軍山祭でも、今年を土台とし、さらなる進化を目指して活動していきますので、変わらぬご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



将軍山祭期間中の11月5日(日)に大学校友会主催の第27回ホームカミング・デーが食堂棟などで開催されました。

本年度は、「安威の丘で大同窓会を！」をスローガンとし、校友大会や懇親会、学部同窓会ならびにクラブ同窓会が盛大に執り行われ、多くの卒業生と家族たちが母校に帰ってきました。

将軍山会館では地域創造学部の紹介展示、懇親会会場では、アメリカ民謡研究部OBバンドの演奏とともに、応援団による演舞も披露され大いに盛り上がりしました。また、2号館前では、各支部おすすめの名産品を販売。今年も好評で完売御礼となりました。恩師や級友との旧交を温めあう光景が各所で見られ、今年度のホームカミング・デーも盛況のうちに終了しました。

ホームカミング・デー

2017年度



将来へ向けて一歩踏み出す“アクション”を支援する キャリア・アクションコモンズ



キャリア・アクションコモンズは、2016年、中央棟1階にオープンした、キャリア形成にむけた学生の主体的な活動を支援するためのスペースです。大きく3つの機能を持っており、具体的には

①実践型インターシップやプロジェクト活動などに参加する学生達が利用できる「ワーキングスペース」

②SPI（就職適性検査）や公務員採用試験等の対策に向けた基礎教科の指導が受けられる「学習支援コーナー」

③就職・キャリア支援課が提供する資格取得講座の受講生が利用できる「資格自習室」を備えています。

①PBLを支援！ ワーキングスペース

ワーキングスペースは、学生がミーティングやワークショップなどに利用できるスペースです。実践型インターシップやプロジェクト活動など、特に実社会のテーマに対してチームで取り組むPBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）プログラムに参加している学生達の活動を支援しています。大きめの机やホワイトボード、模造紙や付箋などのツールを各種揃えて、いつでも利用が

可能なようにしているほか、プロジェクトマネジメントやファシリテーション、プレゼンテーションの経験を持った民間企業出身の教員が常駐していますので、行き詰ったときには相談することもできます。

現在のところ、実践型インターシップに参加している学生がミーティングに活用している例が多いですが、教員と演習の履修生全員が、プロジェクト学習の一環でプレゼンテーションのレクチャーを受けに来たこともありました。

こういった、実社会で価値を生み出すことにチームで挑戦する活動には、企画・調整・チームワークなど、いわゆる「仕事」のエッセンスが凝縮しています。学生達は「仕事」の難しさや面白さに気づき、「仕事」の力を高めると同時に、自分自身の特性や関心を見出すことができます。また、やり遂げた自信も手に入れることができるはずです。

本格的なプロジェクトほどやり抜くには大きなエネルギーが必要ですが、より多くの学生の皆さんにチャレンジしてもらいたいと思います。キャリア・アクションコモンズでは、学生の皆さんのその「アクション」を支援します。

②学習支援コーナー

学習支援コーナーでは、英語・数学などの基礎教科を学習する学生を支援しています。

卒業時のキャリア形成・就職のことを考えると、実はこういった基礎教科の学習が必要であるケースが多くあります。分

かりやすいところではSPIなどに代表される就職適性検査があり、大多数の企業が、採用試験として何らかの学力テストを課しています。残念なことに、企業の採用担当の方から、『貴学のあの学生さん、面接では高評価だったんですが、テストの成績が足りなくて泣く泣く落としたんですよ』という話を毎年伺います。そうならないためには、早期からの着実な対策が必須です。

また、例えば公務員試験や教員採用試験の対策など、各種の試験の中で必要となる基礎教科の対策についても、資格取得講座や就職支援センター、ECO（イングリッシュカフェアットオウテモン）など、関連する部署との連携のもとで支援しています。

具体的には、科目指導が出来る中学高校などの教員経験者が常駐（※2017年度は英語の教員のみ、2018年度からは数学の教員を追加配置予定）し

ており、講座や個別相談などを実施しています。何を勉強すればいいかわからない、そもそも何が分からないかわからない、という状態でも大丈夫！まずは相談に来てください。今の理解度やつまづきポイントを探るところからスタートします。将来のためにコツコツ学ぶ、それもまた「アクション」です。

③資格自習室

キャリア・アクションコモンズの隠れたおススメスポットがこちらの資格自習室です。

自学自習を行うための部屋です。ここで、活発な議論が行われるワーキングスペースや、講座が開かれることもある学習支援コーナーとは部屋自体が分かれており、私語はもちろん、会話がされることのない静粛な環境を提供します。

原則的に、就職・キャリア支援課が学内で開講している資格取得講座の受講生が利用対象となりますが、学習支援コーナーに登録されている方であれば利用していただけます。資格取得やSPI対策など、将来に向けて集中して勉強したい人は、是非この自習室を活用してください。利用を希望する場合は、キャリア・アクションコモンズにいる担当職員に声をかけていただ

き、利用受付票に氏名等を記入して提出してください。利用が終わった後、また一言声をかけていただくとOKです。学生の皆さんの、静かな「アクション」を応援します。

気軽に相談を！

学生の皆さんが、将来に向けて一歩踏み出す「アクション」を支援する。そのために、キャリア・アクションコモンズはオープンしました。動けばわかる。動けばわかる。まずは何か一歩、行動に移していけば、ひらけてくる道があるはずです。ここでは3つの支援機能を紹介しましたが、とにかく気軽に相談にお越しいただければと思います。お待ちしております。





追手門学院は
創立130周年を
迎えます！

2018年11月7日(水) 記念式典開催

追手門学院大学が創立50周年を迎えた昨年につづき、来年は学院が創立130周年を迎えます。そして、その翌年2019年4月にはいよいよ新キャンパスが開設します。この発展と飛躍の中で、2018年11月7日(水)、追手門学院創立130周年記念式典が大阪城ホールで開催されます。今回は、「オール追手門」の関係者のみならず多くの教育関係者、企業関係者をお招きし、未来に向かって躍進する追手門学院と大学の新キャンパス、そこで活躍する学生達の姿をご披露いたします。今からお心に覚えていただき、お力添えいただければ幸いです。

追手門学院総合募金へのご協力も、あわせてお願い申し上げます。学生への奨学金、クラブ活動やボランティア活動へのご支援、大学の施設設備へのご支援など使途をお選びいただけます。また、寄付金には優遇措置があり、最大で約50%の寄付金控除を受けることができます。詳しくは、趣意書ならびにホームページの「総合募金」をご覧ください。よろしく願い申し上げます。

周年事業
推進オフィス

お問い合わせ
TEL : 072-641-7441
URL : gakuin130th@otemon.ac.jp

支援内容

- ・1対1の文章作成指導(チュータリング)
- ・文章力底上げのためのセミナー
- ・授業科目との連携による文章指導

利用案内

- 場所
中央棟1階
- 開館時間
平日 / 11:00 ~ 15:00
- 相談時間
1回あたりの相談時間は40分です。
※原則、事前予約制

●お問い合わせ

MAIL :
WritingCenter@otemon.ac.jp

予約システムについて

ライティングセンターの利用は事前予約制です。センターのHPからアクセスできます。

URL :
<https://www.otemon.ac.jp/facilities/education/writingcenter.html>

追手門学院大学ライティングセンターは、日本語の文章作成のイロハを修得するための新しい学習支援組織です。大学では、レポート・論文・プレゼンテーション原稿など、さまざまな文章を書くことが要求されます。本センターでは、文章作成のノウハウ、訓練を受けた学生チューターが、文章をあいだに、一人40分間の個別指導を行っています。大事にしているのは、文章を「添削」することではなく「対話」することです。「対話」を

通じて学生の皆さんの「気づき」を促し、良い書き手になってもらうことを目指しています。達意の日本語を綴るスキルは、大学での学習にはもちろん、社会や家庭でも欠かせないものです。追手門学院大学のすべての学生の皆さんに、本センターでのトレーニングを経て、表現の喜び、理解と共感を得る喜び、周りを変え自分自身も変わっていく喜びを実感していただくたいと願っております。



ライティングセンター担当教員

*梅村 修(基盤教育機構)

日本語教育学専攻
著書:『初中級日本語文法問題集1・2』

*真銅 正宏(国際日本学科)

日本近現代文学専攻
著書:『小説の方法』

*斉藤 一誠(国際日本学科)

元ソニー株式会社宣伝部所属

*高垣 伸博(国際日本学科)

元毎日放送 制作プロデューサー・アナウンサー室長

*佐藤 伸行(経済学科)

元時事通信社記者

*泊 吉美(地域創造学科)

元読売新聞記者

*佐藤 友美子(地域創造学科)

元サントリー文化財団上席研究フェロー
著書:『成熟し、人はますます若くなる』

*豊島 真介(国際日本学科)

元毎日新聞記者・編集者 /
元毎日文化センター社長



新キャンパス 2019年4月開設予定!

大学キャンパス
完成イメージ



追手門学院創立130周年記念事業の一環として、茨木市東部において進んでいる「茨木スマートコミュニティプロジェクト」に参画し、一大文教地域の創造を目指して追手門学院の新キャンパスを整備します。

新キャンパスには、追手門学院大学の地域創造学部と国際教養学部の移転と全学部1年次生を対象とした初年次教育の拠点化、追手門学院中・高等学校の全面移転を行います。

新キャンパス地は2018年春開業予定のJR総持寺駅から徒歩圏内(徒歩約10分)にあり、現キャンパスからも約2キロしか離れていません。2キャンパスを一体的に運用することで学生の利便性を向上させるほか、地域の防災・交流拠点の創出、新しい教育・研究の実践の場を実現し、北摂地区における一大文教地区を誕生させます。

2017年度 卒業記念行事について

追手門学院大学
学長 川原 俊明

従来の卒業記念パーティは、学位授与式（卒業式）終了後、ホテルの宴会場にて行なわれてきました。この卒業記念パーティは、卒業生と教員が築いてきた4年間の絆を確認し、卒業生を社会へ送り出す前の「大学教育最後の集大成の場」であるという重要な役割を担ってきました。しかしながらその一方で、大会場で全学部によって行う形式であるがゆえに、この行事のあり方についてこれまで大きな悩みを抱えていました。そこで、旧来の卒業記念パーティの位置づけをさらに発展させ、「卒業後も大学と卒業生、教員と卒業生、また卒業生同士が継続的につながる機会となる場を設定す

べきではないか」という提起をして、適宜学生の意見を聞くとともに、開催を後押ししてきていただいた教育後援会にもご相談を行いました。

その結果、2017年度の学位授与式後の卒業記念行事に關して、卒業生が卒業したのちも大学が長く近いものになることを目指し、学生生活を過ごして慣れ親しんだキャンパス内に、学部ごとに懇親会を開催する形態とし、卒業生は勿論のこと、関係者が今一度気持ちを通わせる機会にしたいと思ひます。今回の行事を機縁として、卒業して以後も、卒業生が戻ってくる場所として追手門学院大学が存在するように、そのような「拠り所」となれば幸いです。皆様のご理解を賜れば、有難く存じます。

お知らせ

学位授与式

◆日時：
2018年3月20日(火)
10時30分開式(10時までに着席)
◆場所：
追手門学院大学体育館

卒業記念行事

◆日時：
2018年3月20日(火)
12時30分開始(13時30分終了予定)

授業見学 ウィークを 開催いたしました

2017年11月20日(月)
～24日(金)の5日間、
授業見学ウィークを開催
いたしました。

保護者、教職員多数の方
に大学の授業を見学いただきました。保護者の方からは、「授業を見学できて、より大学が身近に感じられ、とてもよかった」「教員の熱意と学生の意欲が大変感じ取れた」などの感想をいただいたり、お子様と一緒に授業を受けたりと楽しんでいただけた。また、大学をはじめ併設校の教職員も積極的に授業を見学し、大学教育への理解を深めました。追手門学院大学の教育現場である授業を見学いただくことで、教育活動への理解を深めていただくと共に、ご意見ご感想を頂戴し教育改革を推進していきます。



教員採用試験 合格

大阪府中学校英語科 現役合格

心理学部心理学科4年生の伊藤依里佳さんが、大阪府中学校教員採用試験に合格しました。



教員採用試験前には、朝から夜までセンターで勉強に取り組む、見事合格を果たしました。

教職支援センターは、伊藤さんのように「教員になりたい」という学生のみなさんの夢を、全力でサポートします。

卒業生教員情報提供のお願い

ご家族の方やお知り合いの方で、本学卒業の教員がいらっしゃいましたら、①お名前、②卒業年度(期)、③現在(過去)の勤務先、④職名・雇用形態(専任・常勤・非常勤)などの情報をお寄せください。卒業教員のみなさまとのつながりを深めたいと考えています。

なお、頂きました個人情報下記目的以外で使用することはございません。

目的

- ◆本学教員志望学生に対する講演会や交流会に関するご案内・ご依頼
- ◆本学教員志望学生に対する教員採用試験(模擬授業、面接等)へのアドバイス等のご依頼
- ◆本学院初等中等教育部門に対する教員志望者のご紹介のお願い
- ◆本学卒業生教員同士の交流

連絡先

- ◆追手門学院大学校友会事務局 TEL: 06-6943-8400 FAX: 06-6943-8401
- ◆追手門学院校友会山桜会事務局 TEL: 06-6940-3481 FAX: 06-6940-3482

在学生保護者のみなさま
情報をお寄せください。

保健室より

健康診断

大学では、学校保健安全法に基づき、「定期健康診断」を実施しています。全学生が毎年受診する義務があり、大学で受診できなかった場合には、医療機関で受診し、診断書を提出していただくことになっています(個人で受ける健康診断の費用は個人負担になります。)

2018年度は、3月末と4月初旬に学年別に実施を予定しています。詳細は、1月末頃に学内掲示板、UNIVERSAL PASSPORTを通じてお知らせしますのでご確認ください。

健康診断の証明書は5月頃から発行可能です。この証明書は就職活動でも必要になりますので、必ず受診していただきますようお願いいたします。

健康相談

保健室では、随時健康相談を受け付けています。必要に応じて医療施設や専門医の紹介もしていますが、毎週火曜日の13時から15時には、学校医による健康相談も実施しています。また、保健室では、禁煙支援にも力を入れていますので、禁煙したいけれどもなかなかうまくいかないとお悩みの学生さんはぜひご利用ください。

健康診断を
受けましょう

